

# 違法建築物 是正の対応

鈴木 潔 議員

**問** 成田つくば航空専門学校（小堀）が格納庫建設の説明会を開催した。その中で、校舎が違法建築との発言があったが、どこが違法なのか。

**答** 都市整備部長 昨年4月に経営者が変わり、専門学校開校に向けて取り組んでいる。教育環境の充実という目的で今回、開発行為申請があったが、審査の過程で是正箇所があり事業者と協議を行った。是正計画書について県も適正としたことから開発許可をしている。建築指導課長 違反部分は、指導中のため公表は差し控えている。

**問** 違法建築が分かった経緯は。

**答** 開発行為申請の事前協議の相談があり、現地を確認して分かった。是正計画に基づいて改修工事に着手している状況である。

**問** 取り壊し猶予を市が認めているとのことだが。

**答** 建物建築を先行させ、既存の建物から新しい建物に移しながら時間をかけて、少しずつ改善していく。

**問** いつまでに終わるのか。

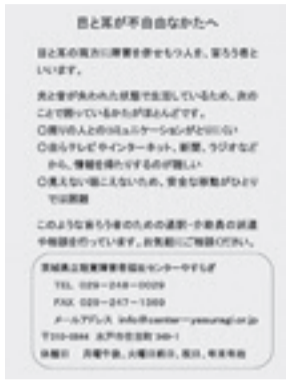
**答** 平成26年度中に完了予定である。

**問** どんな指導をするのか。

**答** 事業者の協力が無いと絶対できないので、お互いに協力をしながら安全な建物というところで考えている。

## 盲ろう者（※）支援の周知を！

山野井 隆 議員



**問** 県は盲ろう者支援を行っているが、全国盲ろう者協会によると、県に約500人と

言われており、視覚・聴覚の身体障害者手帳を併せ持つ人は約160人いる。この方に支援制度の内容を周知しなければならぬが、県の通訳介助の支援制度と周知に関してはどうなっているのか。

**健康福祉部次長** 県で盲ろう者向け通訳介助員派遣事業を実施している。周知は、県からの要請もあり、チラ

シ（左上参照）を障害福祉課、藤代庁舎、社会福祉協議会に置いていた。また障害者手帳の受け取りの際に、事業の案内を徹底している。

**問** 視覚・聴覚の両方で身体障害者手帳を持っている人は、市内に何人いるのか。

**答** 9名。

**問** 盲ろうには先天性のほか、視覚障害者の耳が聞こえなくなることやその逆の場合もある。支援団体に盲ろう者支援制度の周知について協力することは効果があると思うが、市はどこまで協力できるのか。

**障害福祉課長** 従来の方法と、広報とりでの掲載を考えている。関係団体への周知も積極的に対応したい。

**※盲ろう者：目（視覚）と耳（聴覚）の両方に障害のある人のこと。**

## 情報の共有は？ 公共施設マネジメント

結城 繁 議員

**問** 市は他市に先駆けて公共施設マネジメント白書を作成した。これを見ると、現在の施設の建て替え、改修のコストが分かる。平成25年度上半期の進捗状況を見ると、建物状況調査の結果を電子化したとあるが、次にどうつなげるのか。

**政策推進部長** 24、25年度で施設の劣化度を調査し、

データ化した。平成26年度は、これを全職員で共有したいと考えている。これにより、優先度について公平に予算編成を行えることを期待している。

**問** 共有化は情報の一元化を図るといふことか。

**答** 施設の劣化度に順番がつき、それが全庁的にわかり、客観的な判断ができるということ。

**問** 一元化により予算編成の過程まで踏み込めるのか。

**答** それが当然の結果。白書を作った理由は70、80年代に造られた多くの公共施設の更新時期の平準化を大きな目的としている。

**問** 予算編成の過程が見えるようになることが非常に大事。施設の集約化をどのように考えているのか。

**市長** 大きな拠点を作り、

点在するものを集約する考え方と、求められる機能の再編について、白書をどう生かすか考えていきたい。



公共施設マネジメント白書は、取手市ホームページからご覧になれます。

# 原発ゼロと 放射能対策

関戸 勇 議員

**問** 東海第二原発について、市長も原発ゼロを促進する立場に立ってほしいが、まちづくり振興部長 原発について、県知事が新たな規制基準作成との報道があったので、動向を注視したい。

**問** 福島第一原発事故による放射性ヨウ素を含んだ水を一番飲んだのは、利根川から取水している取手・守谷市民ではないか。その点で心配だが、県に健康診断を強く求め、市も独自に甲狀腺のエコー検査を継続的に行うべきと思うが、どう考えるか。

**答** 健康福祉部次長 甲狀腺がんは、チェルノブイリでも事故後2年から少しずつ出ており、5年で2倍、10年で10倍になった。健康調査の結果は、チェルノブイリとの比較にならないので、必要性は高く感じておらず、独自で行う考えはない。

**問** セシウムを中心にした除染について、対象地域の何%で基準を超えているか。まちづくり振興部長 2月20日時点で測定終了の件数が約1万7千件で進捗率が約51%。除染が必要な件数は約1300件で7.5%。

**問** 事故後3年がたちセシウムが地中に入っていると聞く。1センチごとの計測値に変化はあるのか。

**答** 地中の検査は行っていないので分からない。

## ちょっと見てって

取手市議会は、年4回の定例会を開催いたします。臨時会は、市長が緊急を要する場合などに開催するものです。平成25年は、次のとおり議会が開催されました。

会議	会期
第1回臨時会	2月7日
第1回定例会	2月28日～3月22日
第2回定例会	6月7日～21日
第3回定例会	9月4日～26日
第4回定例会	11月29日～12月16日

会期中、議会は、市長から提出された議案や請願・陳情などの審査を行い、議決により意思決定を行います。

議員も会期中に議案、意見書案、決議案等の提出ができます。議員提出の議案についても同様に議決により意思決定を行います。

・議決結果（市長提出）

会議	可決	否決
第1回臨時会	1	0
第1回定例会	42	0
第2回定例会	22	0
第3回定例会	30	0
第4回定例会	26	0

・議決結果（議員提出）

会議	可決	否決
第1回臨時会	-	-
第1回定例会	6	1
第2回定例会	3	0
第3回定例会	9	0
第4回定例会	5	1

※市長提出議案の可決は、前年度決算の認定・監査委員等の選任の同意などを含みます。（⇒8ページに続く）